

丸協にゅーす

- (続) 渡部智社長対談：湯浅和夫氏（株式会社湯浅コンサルティング社長）
- (続) お客様紹介 「富永貿易株式会社様」
- 祝・新入社員、入社！
- 今、知っておきたい物流topics「ホワイト物流」



社長対談：湯浅和夫氏（株式会社湯浅コンサルティング代表取締役社長）



前号からの続きです。「物流危機」と言われますが、今後、物流はどうなるのか。物流事業者はどうあるべきか。渡部社長がかねてより敬愛しているという湯浅和夫氏との対談により、方向性を探ります。

写真左から湯浅社長、渡部社長

社長）湯浅先生と最初にお会いしたのは、中小企業大学校関西校でした。著書は読んでいて、ぜひ一度お会いしたかったです。講義内容は物流ABCで、内容も非常に興味深かったですが、貴重なノウハウを何も隠さずすべて公開されていることに驚きました。

湯浅）このような効果的な管理方法が広まることのほうが大事だと思っています。

社長）「この先生はすごい」と思い、愛知県トラック協会の物流大学校にも行きました。そこで学んだ衝撃的なことが「物流はないほうがよい」ということでした。

湯浅）手間をかけて運んでもモノの価値は高まりませんから、最小限であるべきです。

社長）物流活動は少ないほうが環境にもいいし、渋滞もなくなります。荷主さんにとっても無駄なコストを払わないでいいことになります。考えてみれば当然のことでした。

湯浅）物流大学校では安藤小四郎先生の印象が非常に強いです。

社長）安藤先生からも私の今の根本をつくる学びがありました。合宿研修の際、「運送業の経営に必要なことは何やと思う？」と問われ、私はじっくり考えていくつか答えたのですが違うと言われました。その時いただいた言葉は非常に私の腑に落ちて、その後、常に忘れないものとなっています。（次号に続く）

安藤小四郎先生が言われた「運送業の経営に必要なこと」とは何だと思われますか？



前号からの続きです。富永貿易様（東京都中央区：本社兵庫県神戸市）は食品輸入商社であり、PB商品の製造・販売も行っておられます。丸協とのお付合は20年以上。商品や資材の保管のほか問屋・小売りセンターへの納品も受託しています。専務取締役の星様、執行役員の小林様にお話を伺いました。



星専務取締役

小林SCM本部長

Q！）物流危機と言われ、運賃の高騰などあると思いますが、対策はとられていますか？

星様）西日本の拠点では天災の影響もあり、届けられないという事態が発生しました。リードタイムを伸ばす方向で対応を考えています。

Q！）リードタイムを伸ばすのは、一部の先進的なメーカーは取り組みつつありますが、非常に抵抗が激しく苦労していると聞いています。

小林様）弊社では現在、翌々日納品が基本です。過去に、物流委託事業者から「費用は倍かかりますよ」と言われる中で、顧客サービス向上の観点から翌日納品を実施しました。しかし、お取引先様からの反響や売上において大きな変化が見られなかったことから、翌々日納品に戻した経緯がありました。

Q！）それは是非広く公開してほしい情報です。他にもお取組みがありますか？

小林様）どうしたらコストが高くない物流ができるかを検討するため、物流事業者に対し、リードタイムを希望納品日「+2日」の調整期間を持たせてはどうかと今、アンケートを取っています。ほか、商品の賞味期限の年月表示化、パレット単位出荷に取り組んでいます。

リードタイムの延長や賞味期限の年月表示化、パレット利用は、いま国土交通省でも大いに推進しようとしている物流危機対策です。



祝・新入社員、入社！

4月1日（月）に入社式が行われました。渡部智社長からのお言葉に社会という新しい環境に緊張しながらも、希望に満ちた表情で式に臨んでおりました。

式の後、物流センター現場見学、ビジネスマナーや安全管理についての研修も行われました。

共配大阪	森山、岡部
海外事業部大阪	孫
関西LC	松本、施、高木、松崎、菅原
総務課	内田
東大阪センター	斉
丸協グループ協同組合	木村
本社業務部	藤原
鳥栖LC	柳島、石橋
共配愛媛	河野、佐伯、川上
愛媛営業所	井上
香川営業所	白澤



入社式の様子



研修の様子

今、知っておきたい物流topics

国土交通省、経済産業省、農林水産省が「ホワイト物流」を推進

「ホワイト物流」推進運動とは、上記3省が連携して取り組む、トラックドライバーの長時間労働是正を目的としたものです。

トラックドライバーの長時間労働は、荷主の協力がなければ改善は困難です。宅配便等の物流に携わるドライバーにとっては、ネット通販等を利用する「国民＝荷主」ということになります。そこで、「ホワイト物流」推進運動の主役は、**荷主企業と国民**ということになります。

4月4日、上記3省は連名で、荷主企業約6300社の代表者に向け、ホワイト物流推進運動への参加を呼びかける文書を送付しました。荷主企業には、自主行動宣言の必須項目への同意と、運動への賛同表明が求められます。賛同企業名は公表されます。

この運動を推進するため、2019年4月1日、専用ポータルサイトが立ち上がりました。イラストも多く、とても見やすいので、ぜひ一度ご覧になってみてください。また、このサイトでは、ホワイト物流推進のための「推奨項目リスト」がダウンロードできます。物流効率化の切り口がいくつも示されているので、ぜひ、業務の見直し、改善の切り口の発見にも役立ててください。



※ホワイト物流推進運動ポータルサイト等より湯浅コンサルティング作成